

「 美 術 I 」 シラバス

学科	商業科	学年	1 年	類型		組	5 組	単位数	2
使用教科書	高校生の美術 1（日本文教出版）								
副教材等									

1 学習の到達目標

- ① 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表すことができる。
- ② 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、工芸の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。
- ③ 美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

2 学習評価

次の三つの観点に基づき、各学期の学習内容のまとまりごとに、下記の評価項目により評価をする。学年末において、観点別評価を5段階の評定に総括する。

知識・技能	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表しているか。	(1)(2) (3)(6)
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、工芸の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしているか。	(1)(2) (3)(4) (5)(6)
主体的に学習に取り組む態度	美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り込もうとしているか。	(1)(4) (5)(6)
評価方法	主な評価項目	
授業観察	(1) 制作の状況 (2) 計画的な制作（発想から完成まで）	
作品	(3) 作品の完成度 (4) 独創的な表現	
課題の学習状況	(5) 夏季休業中の課題	
鑑賞レポート	(6) 鑑賞の感想や意見	

3 学習の計画

学期	学 習 内 容	学 習 の ね ら い	評価項目
一 学 期	オリエンテーション	・ 多様な美術学習について見通しを持ち、美術 I の学習の準備をする。	(2)
	素描（鉛筆デッサン）	・ 物を観察する姿勢を身に付け、デッサンの基本的な技術である立体感、質感、位置関係などを学ぶ。	(2) (3) (6)
	絵画①（抽象画）	・ 自由な発想で制作することで多様な色彩が生まれることを学び、混色やマチエールの技法などの基本を身に付ける。	(2) (3) (4) (6)
	鑑賞①（DVD）	・ 芸術家の生涯について学び、作品を生み出す苦労や喜びについて考えを深める。	(6)
二 学 期	夏季課題（デザイン）	・ 人権ポスター制作により、メッセージの伝わる表現や色彩構成などについて考える。	(3) (4) (5)
	コラージュ作品制作	・ コラージュ作品の持つ効果を理解し、構成や色合いなどを考えながら制作する。	(2) (3) (4) (6)
	アニメーション表現	・ プレゼンテーションソフトを利用し、ソフトの機能を十分に活用し、動きをスムーズに見せたり鑑賞者に強い印象を与えたりする作品を目指す。	(2) (3) (4) (6)
	飛び出す絵カード制作	・ 二つ折りにした紙を開いて飛び出す仕組みを考え、形状や色彩の美しさも意識して制作する。	(2) (3) (4) (6)
	鑑賞②（DVD）	・ 日本の芸術家の生涯や作品の変遷、時代背景などを学び、日本の芸術の優れた点について考えを深める。	(6)
三 学 期	パッケージデザイン	・ 普段見ている食品パッケージのデザインについて理解を深めるとともに、購買意欲を喚起するデザインを考えて制作する。	(2) (3) (4) (6)
	絵画②（静物画・風景画）	・ 構図、色彩、陰影の表現、筆遣いなどを工夫し、より完成度の高い絵画表現を目指す。	(2) (3) (4) (6)
	観賞③（DVD）	・ 「表現者」と呼ばれる人の生きざまについて考えを深め、自身の生き方について考える。	(6)
	1年間のまとめ	・ 1年間を振り返って自己評価をする。	(6)

備考 評価項目の（１）については、全ての単元において用いる。